

平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場会社名 RKB毎日放送株式会社  
 コード番号 9407 URL <http://rkb.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理局長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 井上 良次  
 (氏名) 松浦 泰久

上場取引所 福  
 TEL 092-852-6624

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	5,687	△7.4	25	△92.2	87	△77.8	74	△71.4
27年3月期第1四半期	6,141	7.2	329	4.9	393	7.5	261	15.6

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 523百万円 (45.6%) 27年3月期第1四半期 359百万円 (106.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	6.83	—
27年3月期第1四半期	23.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	41,585		29,011			68.4
27年3月期	41,513		28,655			67.6

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 28,460百万円 27年3月期 28,072百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	15.00	15.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,410	△4.2	180	△71.1	250	△64.1	110	△76.3	10.03
通期	24,600	△2.0	1,160	△23.8	1,320	△21.0	850	△17.6	77.51

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	11,200,000 株	27年3月期	11,200,000 株
28年3月期1Q	233,718 株	27年3月期	233,718 株
28年3月期1Q	10,966,282 株	27年3月期1Q	10,967,442 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社現在が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 平成28年3月期の個別業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,780	△8.8	300	△59.3	390	△52.8	200	△62.2	18.24
通期	18,880	△2.9	1,020	△30.6	1,200	△26.0	820	△22.3	74.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
4. 参考情報 .....	10
(1) 当四半期の個別業績 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善など景気回復基調で推移しておりますが、個人消費の回復は緩やかで海外景気の下振れ懸念もあり、先行き不透明な状況が続いております。

そのような状況の中、主に放送事業、その他事業収入が前年を下回りました。その結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は56億87百万円(前年同期比 7.4%減)で減収となり、営業利益は25百万円(前年同期比 92.2%減)、経常利益は87百万円(前年同期比 77.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は74百万円(前年同期比 71.4%減)でいずれも大幅な減益となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

#### ①放送事業

放送事業は、収入40億66百万円(前年同期比 6.0%減)、営業利益64百万円(前年同期比 73.7%減)となりました。

テレビ部門は、収入35億61百万円(前年同期比 5.1%減)となりました。タイム収入は6.9%減、スポット収入も3.9%減となりました。業種別では、化粧品・洗剤・トイレタリ、流通・小売などが伸びたものの、通信・放送、薬品などが落ち込みました。

ラジオ部門は、収入5億4百万円(前年同期比 11.9%減)となりました。スポット収入は10.2%減、タイム収入もイベント収入の減少等により11.5%減となりました。

#### ②システム関連事業

システム関連事業は、収入9億29百万円(前年同期比 10.8%増)、営業損失1億53百万円(前年同期は営業損失1億29百万円)となりました。

ソフトウェア開発業界では業界内の競争が一層の厳しさを増す中、積極的な営業活動を展開した結果、民間向けソフトウェア開発の受注及び機器販売が好調で、増収となりました。利益面では、開発コストの増加により損益の改善には至りませんでした。

#### ③不動産事業

不動産事業は、収入2億58百万円(前年同期比 0.4%減)、営業利益1億70百万円(前年同期比 2.4%減)となりました。賃貸収入の減少により、減収減益となりました。

#### ④その他事業

その他事業は、収入4億32百万円(前年同期比 39.6%減)、営業損失55百万円(前年同期は営業利益39百万円)となりました。

催事部門では、アクロス福岡で「ウィーン少年合唱団」等を開催しましたが、前年J R九州ホールで開催した「アートアクアリウム展」に替わるイベントがなく、減収となりました。利益面でも営業損失となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ72百万円増加し、415億85百万円となりました。これは主に、回収等により受取手形及び売掛金が18億34百万円減少したものの、株価の上昇により投資有価証券が6億81百万円、現金及び預金が6億71百万円、未収金が2億27百万円、たな卸資産が1億65百万円増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の総負債は、前連結会計年度末に比べ2億83百万円減少し、125億74百万円となりました。これは主に、未払費用が3億49百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ3億55百万円増加し、290億11百万円となりました。これは主に、株価の上昇により、その他有価証券評価差額金が4億62百万円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績見通しにつきましては、主力であるテレビ収入が平成27年5月18日に公表いたしました予想より減収となるが見込まれるため、業績予想を修正しております。この結果、第2四半期連結累計期間については、売上高114億10百万円、営業利益1億80百万円、経常利益2億50百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益1億10百万円、通期については、売上高246億円、営業利益11億60百万円、経常利益13億20百万円、親会社株主に帰属する当期純利益8億50百万円を見込んでおります。

## (参考)

- ・平成27年5月18日発表の連結業績予想（第2四半期連結累計期間）  
売上高115億10百万円、営業利益4億50百万円、経常利益5億10百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益2億70百万円
- ・平成27年5月18日発表の連結業績予想（通期）  
売上高255億30百万円、営業利益15億50百万円、経常利益17億10百万円、親会社株主に帰属する当期純利益11億10百万円

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、前連結会計年度において連結子会社であった株式会社バフは、平成27年4月1日付で当社の連結子会社であるRKBミュージズ株式会社に吸収合併されたため、連結の範囲から除外しております。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計上については法定実効税率をベースとし、年間予測税率により計算しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び  
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)  
等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,695	6,366
受取手形及び売掛金	4,264	2,430
有価証券	10	10
たな卸資産	118	284
その他	2,627	3,021
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	12,714	12,111
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,405	7,322
機械装置及び運搬具(純額)	821	780
土地	13,319	13,319
その他(純額)	923	1,084
有形固定資産合計	22,470	22,507
無形固定資産		
投資その他の資産	303	285
投資その他の資産		
投資有価証券	4,944	5,625
その他	1,080	1,056
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	6,024	6,682
固定資産合計	28,798	29,474
資産合計	41,513	41,585
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	436	281
短期借入金	240	490
未払法人税等	246	88
その他	3,473	2,991
流動負債合計	4,396	3,851
固定負債		
長期借入金	240	240
退職給付に係る負債	6,237	6,214
その他	1,984	2,267
固定負債合計	8,461	8,722
負債合計	12,857	12,574

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	560	560
資本剰余金	4	4
利益剰余金	26,749	26,660
自己株式	△178	△178
株主資本合計	27,135	27,046
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,102	1,564
退職給付に係る調整累計額	△165	△150
その他の包括利益累計額合計	936	1,414
非支配株主持分	583	550
純資産合計	28,655	29,011
負債純資産合計	41,513	41,585

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	6,141	5,687
売上原価	3,778	3,611
売上総利益	2,362	2,075
販売費及び一般管理費	2,033	2,050
営業利益	329	25
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	50	54
その他	18	9
営業外収益合計	69	64
営業外費用		
支払利息	4	2
その他	0	1
営業外費用合計	4	3
経常利益	393	87
特別利益		
固定資産売却益	-	0
特別利益合計	-	0
特別損失		
固定資産除売却損	3	-
その他	0	0
特別損失合計	3	0
税金等調整前四半期純利益	390	86
法人税等	151	40
四半期純利益	239	46
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△22	△28
親会社株主に帰属する四半期純利益	261	74

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	239	46
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	100	462
退職給付に係る調整額	20	14
その他の包括利益合計	120	477
四半期包括利益	359	523
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	382	552
非支配株主に係る四半期包括利益	△22	△28

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	放送事業	システム 関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,326	838	259	716	6,141	—	6,141
セグメント間の内部売上高 又は振替高	40	16	73	196	326	△326	—
計	4,366	854	333	913	6,467	△326	6,141
セグメント利益又は損失(△)	244	△129	174	39	329	△0	329

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	329
セグメント間取引消去	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	329

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	放送事業	システム 関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,066	929	258	432	5,687	—	5,687
セグメント間の内部売上高 又は振替高	42	14	70	340	468	△468	—
計	4,108	944	329	773	6,155	△468	5,687
セグメント利益又は損失(△)	64	△153	170	△55	25	0	25

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	25
セグメント間取引消去	0
四半期連結損益計算書の営業利益	25

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 4. 参考情報

(1) 平成28年3月期第1四半期の個別業績 (平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(百万円未満切捨て)

## 【個別経営成績(累計)】

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	4,573	△10.5	166	△60.5	256	△49.4	169	△47.6
27年3月期第1四半期	5,109	6.4	421	3.6	506	4.9	323	11.4

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
28年3月期第1四半期	15	48	—	—
27年3月期第1四半期	29	52	—	—

## 【個別財政状態】

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	35,412	75.4	26,712	75.4		
27年3月期	35,125	74.7	26,243	74.7		

## 【個別売上明細】

	前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)		増減	
	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)
テレビ収入	3,785	74.1	3,591	78.5	△193	△5.1
ラジオ収入	581	11.4	516	11.3	△64	△11.2
不動産事業収入	242	4.7	242	5.3	△0	△0.1
その他事業収入	500	9.8	223	4.9	△276	△55.4
合計	5,109	100.0	4,573	100.0	△535	△10.5

(注) この四半期財務諸表(個別)は、四半期財務諸表等規則に基づき当社が任意で作成したものです。